①

堺市医師会在宅医療推進事業

**在宅医療推進事業**

在宅医療推進事業は、後期高齢者が現在の1.5倍になると予想される2025年に向けて、患者さんの「最期まで、自宅でいたい」という望みを叶えるため、より多くの医療機関が在宅医療、訪問診療・往診を行えるように手助けをする事業です。

**医療コーディネータ**

在宅医療推進事業では医療コーディネータが設置されます。医療コーディネータは、在宅医療を担っていただく医師が増えるよう支援します。また、今後増加すると予想される在宅医療や在宅看取りを実施していただける医療機関を支援します。

**堺市医師会の医療コーディネータ**

要件： ① 在宅医療や訪問診療の現場に通じている　② 在宅医療の内容を理解している

堺市医師会訪問看護ステーション南の久保田看護師が担当

**医療コーディネータの活動**

１）堺市医師会会員への在宅医療の現状を把握するためのアンケート

２）堺市医師会会員医療機関への在宅医療参入依頼

堺市内の各医療機関を訪問し、在宅医療の説明と依頼を行う。

24時間対応の訪問看護の導入を勧める。

在宅医療に関する研修会を開催して各医療機関が在宅医療に参入しやすくする。

３）在宅医療実施医療機関の支援

１）に基づいた在宅医療を行っている医療機関の一覧表の作成

在宅医療を行う医療機関の連携 (予定)

４）後方支援システムの構築とスムーズな退院支援

　　　診療所と病院または医療機関と介護サービスをつなぐ相談員の設置 (予定)

**医療コーディネータの活動内容**

１）医療機関アンケートなどの調査

・在宅療養支援診療所　156件　(うち医師会入会　123件)

　　　・在宅療養支援病院　　 10件　　　　　　　　医師会Ａ会員の約20％

　　　・上記以外で在宅医療未実施医療機関　　123件以上　　(医師会入会のみ)

自分のところに通っている患者さんが通院できなくなると、

往診や訪問診療をしている医療機関がたくさんありました。

②

２）在宅医療未実施医療機関への訪問調査

　　　訪問：　診療所・103件　(うち院長面談75件)　病院・20件　電話調査：61件

　　　在宅医療未実施の理由：　　・診療所の過剰業務、人員不足

・24時間体制が取れない　　・在宅医療専門診療所に任せている

　・医師自身の体調不良や高齢化　　・専門性の高い診療所（循環器、消化器）

　３）「在宅医療情報システム」の運用開始

2016年7月から堺市医師会ホームページに掲載

　　　　在宅医療を行っている医療機関の一覧表

地域、施設基準、受け入れ可能医療などの条件で検索可能

４）在宅医療に関する研修会の開催

　　　2015年：　在宅医療入門、在宅医療診療報酬、堺市の在宅医療の現状（シンポジウム）

　　　2016年：　在宅医療同行研修、在宅医療診療報酬2

５）関係機関への訪問

　　　堺市高齢施策推進課、堺支社会福祉協議会、基幹型包括支援センターなど

**在宅医療推進事業の成果**

　　　2015年度の新規在宅療養支援診療所　　６件

参考

